

令和 9（2027）年度

関西医科大学大学院 生涯健康科学研究科
修士課程
学生募集要項

関西医科大学大学院 生涯健康科学研究科

〒573-1136 大阪府枚方市宇山東町18-89

Tel : (072) 856-2150 (事務室直通)

E-mail : reha.makino@kmu.ac.jp (事務室代表)

生涯健康科学研究科修士課程学生募集要項

1. 募集人員

研究科名	専攻名	課程	募集人員
生涯健康科学研究科	生涯健康科学専攻	修士課程 (2年)	8名

2. 出願資格

本学生涯健康科学研究科（以下、本研究科という）の修士に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者又は卒業見込の者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は授与される見込の者
- (3) 文部科学大臣が別に指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び入学の前月までに修了する見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者・・・受験資格審査必要
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者・・・受験資格審査必要

*注 (5) 及び (6) の受験資格審査対象者は、出願前に個別の出願資格審査を受けること。

※受験資格審査（該当者のみ）

①申請方法

封筒に「生涯健康科学研究科受験資格審査書類（修士課程）在中」と朱書きし、申請書類を簡易書留郵便で郵送して下さい（郵送のみ受付）。事前に志望する領域の指導教員（7～8ページ参照）と相談して下さい。

*持参の場合は、受付しません。

②申請期間

令和 8年 7月 13日（月） ～ 令和 8年 7月 27日（月）【必着】

③申請書類送付先

〒573-1136 大阪府枚方市宇山東町18-89

関西医科大学リハビリテーション学部事務室

④申請書類

1. 受験資格審査申請書（本研究科所定の用紙をホームページよりダウンロードし作成すること）
2. 最終学歴に関する証明書（卒業証明書、卒業見込み証明書、学位授与証明書のいずれか）
3. 返信用封筒〔角2、A4判に宛名を明記、切手480円（速達用）を貼付すること〕

⑤ 受験資格審査結果通知

受験資格審査の結果は、令和 8年 7月 31日（金）を目途として郵送にて発送予定です。

結果通知後、出願を許可された者は、提出書類を締切日までに郵送下さい。

3. 出願期間及び出願書類

(1) 出願期間

令和 8 年 8 月 3 日 (月) ~ 令和 8 年 9 月 4 日 (金) 【必着】

注) 出願期間後に到着した願書は受理しません。

(2) 出願方法

①出願にあたっては、事前に志望する専門領域の指導教員（7～8ページ参照）と相談して下さい。

* 令和8年度末に退官する教員を指導教員とする場合も事前に相談すること。

②出願書類は一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院（修士課程）出願書類在中」と朱書きし、「簡易書留速達郵便」で郵送して下さい（郵送のみ受付）。

* 持参の場合は、受付しません。

(3) 入学検定料

20,000円

入学検定料を出願期間内に必ず受験者本人名義で振込下さい（手数料本人負担）

金融機関：りそな銀行（0010）

支店名：守口支店（211）

預金種別：普通預金

口座番号：0687769

口座名義：学校法人関西医科大学

（カナ）：ガク）カンサイイカダイガク

(4) 申請書類送付先

〒573-1136 大阪府枚方市宇山東町18-89

関西医科大学リハビリテーション学部事務室

(5) 出願上の注意事項

①受理した出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。

②入学検定料は、払い戻ししません。

③疾病・負傷や身体障害のために受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始までに申し出て下さい。

④出願に伴う個人情報を選考目的以外には利用しません。なお、入学者については、「教務関係（学籍管理、就学指導等）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うために利用します。

(6) 出願書類（所定様式については、ホームページよりダウンロードのうえ、作成して下さい）

出願書類	作成方法	確認
入学志願票（表） 履歴書（裏）	本研究科所定の様式 入学志願票と履歴書は両面印刷して下さい。	<input type="checkbox"/>
志望理由書	本研究科所定の様式 A4用紙1枚以内	<input type="checkbox"/>
受験票	本研究科所定の様式に出願 3 ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き縦 4cm 横 3 cm の写真を貼付（写真の裏面には氏名を記入しておくこと）	<input type="checkbox"/>
受験票返信用封筒	定型封筒長形3号（ヨコ12cm×タテ23.5cm）に、返信先の住所・氏名を明記し、460円切手（含簡易書留料金）を貼付したもの。	<input type="checkbox"/>

入学検定料振込証明書	入学検定料の振込証明書（またはATMによる振込票）を入学志願票裏面（履歴書下部）に貼付して下さい。インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了の画面を印刷のうえ貼付して下さい。	<input type="checkbox"/>
卒業（見込）証明書 （原本）	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長または学部長が証明したもの、または外国の学校教育機関の長が証明したもの ・大学以外の教育機関で教育を受けた者は、当該校の卒業（見込）証明書 ・大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学士の学位授与証明書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書 ・他の大学院を修了（見込）の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分も併せて提出して下さい。 	<input type="checkbox"/>
成績証明書（原本）	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長または学部長が証明したもの、または外国の学校教育機関の長が証明したもの ・大学以外の教育機関で教育を受けた者は、当該校の成績証明書 ・他の大学院を修了（見込）の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分も併せて提出して下さい。 	<input type="checkbox"/>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・証明書等が現在の姓名と異なる場合、異動内容が確認できる戸籍抄本を必ず同封して下さい。 	<input type="checkbox"/>

4. 志望領域の選定

志望者は、別表「指導教員の研究概要」（7～8ページ参照）に示す研究領域のうち、志望する領域を入学志願票に記入する必要があります。

5. 試験日程・試験場所

入学試験は、外国語（英語）試験、面接試験の結果及び提出書類内容を総合的に判断して実施します。

(1) 試験科目

- ・外国語（英語） ※辞書持込可（電子辞書不可）
- ・面接

(2) 試験日程

年月日	時 間	科目名	配点	場 所
令和 8 年 9 月 19 日 (土)	13:00～14:00	外国語（英語）	100点	関西医科大学 牧野キャンパス リハビリテーション学部棟
	14:15～	面接	—	

(3) 注意事項

- ①試験当日は受験票を必ず持参し、12時30分までに集合して下さい。
- ②天候・公共交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせることがあります。
- ③試験開始後30分を超えて遅刻した場合は、受験を認めません。また試験時間中の退出はできません。
- ④電卓、電子辞書、計算機能及び辞書機能を備えた時計の持ち込みは禁止します。
- ⑤試験に際しては携帯電話等の電源は必ず切って、カバン等に入れて下さい。
- ⑥試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関を利用して下さい。
- ⑦大学敷地内はすべて禁煙です。

6. 合格発表

令和 8 年 10 月 14 日（水）正午に本学ホームページに掲載します。また、合格者には、発表当日に合格通知書及び入学手続書類を発送します。電話による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続・学費等

合格者には後日別途案内します。

(1) 入学手続期間

令和 8 年 10 月 14 日 (水) (合格発表当日) ~ 11 月 4 日 (水) 【必着】

(2) 入学手続書類

- ① 誓約書
- ② 住民票記載事項証明書 (外国籍の方も同様)

(3) 入学金・学費

	学 費	
	前期 (入学手続時)	後期 (納入期限 : 9/30)
入 学 金 (初年度のみ)	200,000円	—
授 業 料	200,000円	200,000円
合 計	400,000円	200,000円

注) 本学の貸与型奨学金制度、および学外の奨学金制度があります。

(4) 長期履修制度

申請が許可された者の長期履修適応年数は、修士課程は4年とします。

8. 交通アクセス

受験会場：関西医科大学 牧野キャンパス リハビリテーション学部棟
京阪本線牧野駅下車 徒歩10分



9. 出願に関する問い合わせ先

関西医科大学リハビリテーション学部事務室

〒573-1136 大阪府枚方市宇山東町18-89

Tel : 072-856-2150 (事務室直通)

E-mail : reha.makino@kmu.ac.jp (事務室代表)

※領域等についての問い合わせは、メール (reha.makino@kmu.ac.jp) にて受け付けます。

件名には【修士課程志望する領域 (など)】を記載して下さい。

事務取扱時間

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時50分(第1・3・5土曜日)

※第2・4土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は閉室

10. 生涯健康科学研究科修士課程の概要

1. アドミッションポリシー

- (1) 人々の健康に関与する人として必要とされる知識及び実践能力を習得するための基礎的能力を備えている人。
- (2) 保健・医療・福祉分野の諸課題について強い関心及び向上心を持つ人。
- (3) 様々な視点から多様化する保健・医療・福祉分野における課題を発見し、解決する探求心を持つ人。
- (4) 人々の健康に関与する人として高い倫理観を持ち、専門領域の発展に貢献する意欲のある人。

2. カリキュラムポリシー

- (1) 心身の健康、疾病予防、健康増進及び生活支援に関連する必修科目を配置する。
- (2) 人々の健康に寄与できるよう自身の専門領域のみならず関連分野の高度な知識を修得できる科目を配置する。
- (3) 保健・医療・福祉分野において、それぞれの専門領域の役割を理解し、高度専門職業人としての素養を養う科目を配置する。
- (4) 自身の専門分野において高度な専門的知識及び技能を習得できるよう専門基礎科目を配置する。
- (5) 高度化・複雑化する社会において必要となる生活機能、心身機能、認知機能について高度な専門的知識を修得できる専門科目を配置する。
- (6) 研究を進める上で必要となる研究計画、研究実施などの能力を身に付ける科目を配置する。

3. ディプロマポリシー

- (1) 保健・医療・福祉分野において高度な専門知識を修得する。
- (2) 心身の健康、疾病予防、健康増進及び生活支援等の領域において、人々の健康に関与する人材として保健・医療・福祉分野における役割を理解し、指導的立場に立ち多職種と連携できる。
- (3) それぞれの専門領域の発展のために、高度な技能を習得し、実践・研究課題について探求することができる。
- (4) 自ら専門領域における課題を発見し、課題解決を図ることができる。
- (5) 自立した研究者としての基盤となる基礎的研究能力・技術等の素養を身に付けている。

4. 指導教員の研究概要

注：教員名の（＊）は令和8年度末に退官する教員

・生体機能解析学

指導教員	概 要
飯田寛和 （＊）	<ul style="list-style-type: none"> ■骨格系機能解剖学と関節疾患の機能障害に関する研究 ■健康増進のためのデバイス、サービス開発 ■股関節疾患の新規治療開発
市橋則明 （＊）	<ul style="list-style-type: none"> ■運動器系理学療法に関する臨床的研究およびバイオメカニクス的研究 ■ストレッチングと筋力トレーニングに関する研究 ■医用画像（超音波・MRI）解析による筋腱複合体の形態学的研究 ■関節の制御機構と筋機能に関する基礎的および臨床的研究
佐藤春彦	<ul style="list-style-type: none"> ■生体センシング技術を活用した姿勢運動評価に関する研究 ■生体センシング、機械学習を駆使した障害児のコミュニケーション支援に関する研究 ■乳幼児の運動発達に関するバイオメカニクス的研究 ■障害予防・運動発達支援を目指したライフログの活用に関する研究
中野治郎	<ul style="list-style-type: none"> ■がんリハビリテーションに関する臨床研究 ■腫瘍に対する運動療法の効果に関する実験的基礎研究 ■リハビリテーションに関する文献的研究：システムティックレビューの作成 ■物理療法の新たな効果・適応に関する探索的研究 ■がんサバイバーを対象としたアンケート調査
前澤仁志	<ul style="list-style-type: none"> ■非侵襲的脳機能計測によるヒト感覚運動制御機構に関する研究 ■経頭蓋電気刺激による中枢神経機能の変調とパフォーマンス改善に関する研究 ■嚥下・発話機能の神経生理学的手法を用いた研究
八木優英	<ul style="list-style-type: none"> ■医用画像・筋電図解析を用いた神経・筋・結合組織のバイオメカニクス研究 ■数理モデルや生体力学に基づく関節運動・筋機能の研究 ■運動器理学療法に関する基礎的・臨床的研究
森公彦	<ul style="list-style-type: none"> ■片麻痺者に対する効果を最大化する歩行支援ロボットの最適化に関する研究 ■バイオメカニクスに基づく運動制御および神経適応メカニズムの解明 ■健康・活動を支える「動きの質」の評価とAIを用いたフィードバックシステムの開発 ■動作解析データベースを用いた運動介入ポイントの同定と個別化戦略の構築
田頭悟志	<ul style="list-style-type: none"> ■パフォーマンス向上につながるスポーツ動作の評価法の開発 ■体幹機能とスポーツ動作に関する研究 ■運動（スポーツ含む）における安全なトレーニング法の確立 ■循環器理学療法（心臓リハビリテーション）

・健康支援開発学

指導教員	概 要
池添冬芽	<ul style="list-style-type: none"> ■フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドロームに関する臨床研究 ■高齢者に対する身体機能評価手法および運動トレーニング法の開発 ■高齢者の骨格筋特性・運動機能および活動に関する臨床研究
野村卓生	<ul style="list-style-type: none"> ■ダイアベティス理学療法に関する研究 ■労働者の運動器障害を予防する産業理学療法研究 ■先端機器を用いた運動療法の効果検証に関する研究 ■ウェアラブルデバイスを用いた24時間行動に関する研究 ■リハビリテーション領域におけるデジタルバイオマーカーの開発
浅井剛	<ul style="list-style-type: none"> ■小型慣性センサを用いた歩行解析に関する研究 ■地域高齢者における転倒リスク要因の探索 ■転倒恐怖感が運動機能に及ぼす影響に関する研究 ■理学療法評価機器の開発および研究
福元喜啓	<ul style="list-style-type: none"> ■超音波画像装置を用いた高齢者および運動器疾患患者における筋・関節の特性解析に関する研究 ■画像解析や生体電気インピーダンス法による新たな筋特性評価方法に関する研究 ■高齢者の身体機能評価方法と健康支援方法の開発に向けた地域在住高齢者のコホート研究

脇田正徳	<ul style="list-style-type: none"> ■ 転倒予防を目的としたトレーニング手法の開発と効果検証 ■ 電気生理学的手法を用いた姿勢制御・歩行制御メカニズムの解明 ■ 介護ロボットの社会実装に向けた機器開発および導入効果の検証 ■ 要介護者を対象とした運動療法のエビデンス構築とテクノロジー活用型運動療法の開発
西中川剛	<ul style="list-style-type: none"> ■ 呼吸器疾患を主とする内部疾患理学療法に関する研究 ■ 睡眠と身体機能・フレイルの関連における研究 ■ 先端機器を用いた運動療法の効果検証に関する研究 ■ 先端機器を用いた 24 時間行動に関する研究 ■ リハビリテーション領域におけるデジタルバイオマーカーの開発

・こどもとおとなの神経科学

指導教員	概 要
種村留美 (*)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高次脳機能障害の評価技法開発 ■ 高次脳機能障害のリハビリテーション ■ 高次脳機能障害、認知症のICTを用いた在宅支援
吉村匡史	<ul style="list-style-type: none"> ■ 精神疾患患者、健常者を対象とした脳波による脳機能評価 ■ 精神疾患のリハビリテーション
砂川耕作	<ul style="list-style-type: none"> ■ 視線計測を用いた認知機能評価・インターフェイス開発 ■ 認知症の早期発見に向けた評価尺度の開発 ■ 視空間認知機能と生活障害に関する臨床研究
橋本晋吾	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高次脳機能障害リハビリテーションの臨床研究 ■ Mixed Reality (複合現実) を用いたリハビリテーションに関する臨床研究 ■ 認知症予防プログラムの開発 ■ がん関連認知機能障害に関する研究 ■ Brain Machine Interface トレーニングに関する臨床研究

・こどもとおとなの生活科学

指導教員	概 要
福井信佳 (*)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福祉機器、義肢装具等の開発・評価に関する研究 ■ 障がいのある人の職場定着に関する研究
加藤寿宏	<ul style="list-style-type: none"> ■ 神経発達症児のリハビリテーションの効果研究 ■ 神経発達症児の感覚と運動に関する臨床評価の開発 ■ 学校作業療法に関する臨床研究 ■ 小児リハビリテーションの臨床研究
松島佳苗	<ul style="list-style-type: none"> ■ 神経発達症児の協調運動の定量的指標開発 ■ 生理指標を用いた神経発達症児の感覚特性理解 ■ 小児がんの作業療法 ■ 地域における子育て支援と作業療法
中山 淳	<ul style="list-style-type: none"> ■ 治療器および解析機器を駆使した評価・アプローチ方法の研究 ■ 患者モデルを想定し、最先端の三次元動作分析装置、表面筋電図、脳波計等を用いた分析 ■ 運動機能障害に関する臨床研究 ■ 義肢装具を用いた介入方法の検討 ■ 新たな義肢装具の研究開発を行う